

稲作ワンポイントアドバイス(No.5)

令和7年7月1日
JA山口県長門統括本部
長門農林水産事務所農業部

6月27日に観測史上最早で梅雨明けしました(平年より22日早い)

用水が不足する地域が出る恐れがあります

- ・用水路とほ場周りをチェックして、水漏れを防止
- ・作溝など円滑な給水ができるように努める **熱中症に注意!**
- ・揚水ポンプを点検
- ・用水不足が懸念される場合は穂ばらみ期～穂揃期を中心に、重点的に灌水を行う

1 生育等の状況 (水稻定点調査結果より)

※平年値は過去5年の平均

	移植日	草丈	1株茎数	葉齢	葉色
コシヒカリ	5/9 (平年5/9)	長い 72cm(平年62cm)	やや多い 29.3本(平年24.7本)	平年並 10.9L(平年10.8L)	平年並 4.4(平年4.3)
ひとめぼれ	5/19 (平年5/18)	平年並 54cm(平年56cm)	平年並 21.6本(平年24.6本)	平年並 10.6L(平年10.6L)	平年並 4.6(平年4.4)
きぬむすめ	5/28 (平年5/27)	平年並 44cm(平年44cm)	平年並 19.7本(平年19.5本)	平年並 9.2L(平年9.4L)	平年並 4.4(平年4.4)
あきだわら	6/1 (平年5/31)	平年並 43cm(平年40cm)	平年並 17.9本(平年15.8本)	平年並 9.2L(平年8.6L)	平年並 4.7(平年4.5)

●5月下旬植えのきぬむすめ・あきだわらは中干し時期です。

●5月上中旬植えコシヒカリは幼穂形成が始まりました。(幼穂1mm以下～2mm)

品種	移植期	出穂期の予想	調査ほ場の予想
コシヒカリ	5月上中旬	平年よりやや早い (平年7/26)	7/22～25

【参考】幼穂と出穂前日数の関係 ※今年は気温が高いので表より数日早まります

幼穂の長さ	出穂前日数	外形
肉眼で見えるが1mm以下	26日前	止葉の下の葉抽出
1～2mm	24日前	
5mm	20日前	
1cm	18日前	止葉抽出
4～6cm	13日前	(穂ばらみ始め)
20cm	6日前	

2 今後の管理のポイント

(1) コシヒカリ・ひとめぼれ

ア 肥培管理

○緩効性肥料(元肥一発肥料)の場合

- ・高温が続くため、今後急激に葉色が淡くなる可能性があります。葉色3.5以下となった時は、出穂前13日頃に、窒素量で1～1.5kg/10a程度、追肥を行いましょう。

○分施・穂肥一発肥料（穂づくり640）の場合

- ・穂肥は、1回目が早すぎると倒伏の危険性があり、2回目が遅すぎると（出穂前10日以降）食味低下のおそれがあるので、適期施用しましょう。

品種	分施（穂肥1回目）／穂づくり	分施（穂肥2回目）
コシヒカリ	出穂前18日頃（幼穂1cm）	出穂前13日頃
ひとめぼれ	出穂前20日頃（幼穂5mm）	出穂前13日頃

- イ 水管理（地域の用水の状況や水利ルールに基づいて管理を行ってください）
中干し後は走り水をし、**出穂20日前から湛水管理**を行いましょ



(2) きぬむすめ・あきだわら

- ア 水管理（地域の用水の状況や水利ルールに基づいて管理を行ってください）
莖数が18本／株程度になるまで間断かん水を継続し、中干しを行いましょ。中干し終了後は走り水をし、間断かん水を行いましょ。
用水が不足する恐れがある地域は中干しはせず、湿潤状態を保ちましょ。

イ 肥培管理

ケイ酸加里は、出穂前40日頃を目安に散布すると効果（倒伏防止・根の発達・受光体勢の改善等）が高まります。

(3) 病害虫・雑草の管理等

【葉いもち】

- ・葉いもちの病斑を見つけたら速やかに防除してください。



葉いもち病斑

【斑点米カメムシ類】

- ・7月5日～13日は斑点米カメムシ対策の県内一斉草刈りWeekです。
出穂2週間前までに畦草を刈り終えましょ。

(4) 農作業安全

- ・熱中症に注意し、**こまめな水分補給・休憩等**を心がけましょ！